

第4回 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議 会議録

日時 令和8年9月24日（木）10時00分から11時30分
場所 周南市役所 庁議室
出席者 ・委員9名
榊原 弘之、河野 拓也、鶴田 来美、桐生 智晃
山本 佐智子、原田 宗隆、松本 久美子、西崎 博史、児玉 真
・事務局9名
企画部長 林 真也、企画部次長 柿並 裕司
企画部企画課市民館跡地利活用推進室
室長 中村 成孝、室長補佐 近松 昌哉、主査 濱本 亮
文化スポーツ観光部次長 川上 浩史
文化スポーツ観光部 文化振興課 課長補佐 山本 真琴
こども未来部次長 大木 清広
こども未来部 あんしん子育て推進課 主幹 宮崎 優子
・株式会社シアターワークショップ 古川
資料 ・会議次第のとおり

会議録

1 開会

- ◇事務局 定刻となりましたので、ただ今から、第4回 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議を開催いたします。
- 本日は、お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。本日の進行を務めます、周南市企画課の中村と申します。よろしくお願いいたします。
- 本日の会議は10名中9名の委員の皆様にご出席いただいております。なお、稲垣委員が、本日も欠席となっております。

2 議事:(1)市民意見聴取結果の共有

- ◇事務局 それでは、これより議事に入ります。これ以降の進行につきましては、設置要綱第6条の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、榊原会長、どうぞよろしくお願いいたします。
- ◎会長 それでは始めさせていただきます。議事進行につきまして、委員の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。
- それではこれより議事に入りますが、本日の議事は3つございます。最初に議事1 市民意見聴取結果の共有です。事務局から説明をお願いします。
- ◇事務局 (資料を基に説明)

- ◎会長 ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明につきまして、ご意見・ご提案がございましたらお願いします。
- 委員 第4回の学生ワークショップに参加しました。若い人が大変熱心に議論をしており、こういった時間を持つことにとても意味があると思いました。若い人がいかに柔軟な発想を持っているか実感しました。全ての内容を実現することは難しいと思いますが、まちづくりに主体的にかかわることが大事だと思います。これらの意見を踏まえて計画づくりを進めていただきたいと思います。
- 委員 ワークショップに何度か出席させていただきましたが、こどもたちが居場所というものを求めていると強く感じました。結果にもあるような、安心できる、気軽に集える場所です。本エリアが自己成長を促しながら、次世代の担い手の育成、地域のあり方形成の場となれば、こどもたちの役に立つ場づくりができるのではないかと感じます。
- ◎会長 ワークショップで得られたアイデアをその後の具体的な計画内容にどう活かしていくかが重要です。全てを実現することは難しいと思いますが、皆さんに参加したかいがあったと思ってもらえることが大事です。せっかく若い方に貴重な時間を割いて参加していただいています。ソフト面への反映になってくるかもしれませんが、その辺りを汲み取っていただきたいと思います。

2 議事:(2)事業手法の検討および整備スケジュール

- ◎会長 続いて議事2 事業手法の検討および整備スケジュールです。事務局から説明をお願いします。
- ◇事務局 (資料を基に説明)
- ◎会長 ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明につきまして、ご意見・ご提案がございましたらお願いします。
- 委員 従来方式が妥当ではないかと感じました。今回の肝としては、山口銀行が参入しているところです。山口銀行とのコンセプトの擦り合わせは検討事項であると思いますが、どこまで伝えることができるかというところです。山口銀行を、3・4期整備エリアと一体的な文化空間の中で整備してもらえば良いと思いますが、調整状況はいかがでしょうか。
- ◇事務局 計画の一時中断以降、山口銀行と協議は続けています。有識者会議および特別委員会におけるご意見も共有させていただいています。現時点では、協議の中では同じ方向を向いて進められていると認識しています。山口銀行には、同時並行で進めているウォークアブルなまちづくり推進協議会にもオブザーバーとして国と共に参加していただいています。市民館跡地エリア全体が、文化芸術があって、こどもが集う場となることを共有しながら進めていきたい思いです。意思決定については、足並みを合わせながら発表できるタイミングでしていくことを考えています。

- 委員 山口銀行にとっての付加価値をまちづくりという観点で考えるべきだと思います。施設の中に山口銀行があるというだけではなく、山口銀行とのあり方を確立していくため、今後も山口銀行との連携を続けていただきたいと思います。
- ◎会長 整備スケジュールについて、2期整備のステップはどこに入ると考えれば良いでしょうか。
- ◇事務局 複合施設前期工事の開始までに2期整備が終わることを想定しています。
- ◎会長 最初の2か年に駐車場整備を行うということですが、駐車場整備と山口銀行棟の一連の整備の重複は可能なのでしょうか。
- ◇事務局 立体駐車場については、国の整備が始まる前に完成させる必要があります。保健センター等の利用者の駐車場を確保する必要があるので、先に駐車場を整備してから山口銀行棟の整備に入るのが良いと考えています。
- ◎会長 一括発注は難しいという判断であると思いますが、この規模で長期のプロジェクトとなると事業者側として手を上げにくいなどの想定は市の方でありますか。サウンディング等を実施したうえで推測されているのでしょうか。
- ◇事務局 サウンディングは未実施ですが、本エリアは事業主体が複数発生するため、細かい調整が必要と考えています。そのため、市がイニシアチブを取って調整を図っていきたいという意図もあり、従来方式が良いと考えています。
- ◎会長 様々な要素があり、かつ長期で実行することを前提とすると、情勢の変化も想定され、民間側のリスクが大きいと考えられます。そのため、ある程度行政側でリスクを負うことが必要という判断であると受け止めました。経済情勢や物価上昇などの要素もある中で、10年間でプロジェクトを成し遂げるのは大変であると思われます。このプロジェクトが市にとってどのような意義があるのか。プロジェクト遂行においては強い意思が必要であると思います。
- 委員 会長・副会長の意見に賛同します。時代と共に、文化活動の実態も変化しています。市がある程度の理念・哲学をもって、状況を見ながらしなやかに対応していく姿勢がとても重要です。指定管理が入ったとしても、二人三脚で同じ方向を向いていくことが大事です。
- 委員 基本的には賛成します。ただ、10年前と今の情勢を比べると、市町村の財政状況も大きく変わっており、人口減少も加速しています。次の10年について考えると、このスピードがもっと速くなると思います。柔軟であることも重要ですが、それにより散らかってしまうことも懸念されます。はじめに考えていた方向から細かい修正を重ねていくと本質が変わってしまうという意味で、皆さんが想定していたエリアのあり方が、知らないうちに変化してしまうということが起こりそうな気がします。これを止められるのは市だけです。理想の社会をつくるための施設であることが重要です。施設があるからこれをやろう、ということではなく、これをやるために施設をつくるという方向性を市が明確にしていく必要が

あります。今後 10 年の間に市が施策として何をやっていくのか声を上げておく必要があります。

◎会長 柔軟な対応が迷走にならないようにしたいです。今後 10 年の中で、少子高齢化や人口減少の方向は確定しています。コロナ禍はいろいろな社会情勢の変化を加速させたと思います。今後何が起こるか予測できない中で、市としては文化が大事だという考えがあったはずなので、その部分はぶれないようにしてほしいです。

●委員 学生ワークショップに参加し、若い人たちが欲しいものについて、時代の背景はあるが、変わらないものはあるということを感じました。市への愛着や、自分たちの居場所をつくるといった点です。自己肯定の仕方は変わっていると思いますが、居場所というものは 10 年後にも必要とされるのではないかと思います。施設をどう管理していくのが重要です。工事の間も市民を育てて文化を醸成し、市民を結束させられるのは施設管理者であると思います。今日の議題ではハード・整備の段階に着目していますが、建物が建つ前から団体や枠組みの整備・運営を始めるという方法もあると思います。柔軟・長期間という点においては、施設管理のあり方、市民を育てていくという視点で、新しい進め方があるのではないかと考えます。可能であれば、早い段階から施設を愛してくれるような方法を検討していただきたいです。

◎会長 長期のプロジェクトの中で、整備期間内に文化政策としてどういったことができるのか検討していただきたいです。ホールがその手段として位置づけられると良いのではないのでしょうか。

2 議事:(3)概算工事費の算出

◎会長 続いて議事 3 概算工事費の算出です。事務局から説明をお願いします。

◇事務局 (資料を基に説明)

◎会長 ありがとうございます。本事業は周南市の事業であり、市民の意思のもと本内容は決定されるべきです。有識者会議の場には市民ではない委員もいる中で、様々な知見に基づく意見により本資料は作成されていると考えます。それぞれの立場からの視点でご意見をいただきたいです。規模のコンパクト化という点が明記されていますが、文化芸術活動にはどの程度の影響があり、それに応じて施設のあり方は変わってくるのでしょうか。お気づきの点があればご意見をいただきたいです。また、2つの案に発生しているコスト差は、床面積の削減と平土間化による成果であると考えて良いのでしょうか。

◇事務局 概算事業費は、㎡単価に延べ床面積を掛け合わせて算出しています。客席や主舞台の面積は変えておらず、平土間の場合と固定席の場合で単価も特に変えていません。純粋に面積を縮減したことで事業費に差が生まれています。

●委員 ホワイエは共有とされていますが、狭くてもあった方が良く、プロの方が来た時

の公演時などに利用されると思います。飲食スペースについては、コーヒーを提供してもらえ空間になると良いです。音響性能の良い素晴らしいホールになると良いと思います。また、舞台管理をする人が常駐した方が、利用が増えると想定されます。

◇事務局 客席数については設計段階においても引き続き検討します。ホワイエについては、運用での対応も含め考えていきたいです。飲食スペースについては多面からご意見をいただいているところなので、検討を進めていきたいと思います。

●委員 大型事業を見直ししていく必要があることは理解しています。将来的に見通しを立てた上で維持運営することが必要なので、見直しせざるを得ないと思います。客席の形式についてはもう少し慎重に考えていった方が良いと考えます。平土間形式の場合は展示など幅広い使い方ができますが、固定席の場合は展示スペースを設ければ良いと思います。小さいスペースであっても生かせる空間づくりをいかにしていくか、知恵を絞っていただきたいです。飲食スペースなどの利用者の寛ぎの場は必要であり、文化空間に付随して作ったほうが良いです。限られたスペースにいかに素敵な演劇・音楽・舞踊を楽しむことができる空間をつくれるか、様々な可能性を今後も追及して行ってほしいです。

●委員 ホワイエは固定したものとして考えず、稼働率がさほど高くないのであれば、エリアを区切ることによって運用面で対応するといったことも含めて考える必要があると思います。面積を削減したことで、多目的に使う場所が増えているはずなので、どのような設計ができるか、設計者の腕の見せ所だと思います。基本的に、様々な要素が入ってくる場所では、共有としないと面積がどんどん増えてしまいます。その分ソフトが重要です。草津では音楽祭があったから良いホールが求められてつくられたという例もあります。

◎会長 詳細設計は今後のため、設計を進める中で気を付けてほしいことについてご意見をいただいたと認識しています。運営の仕方や稼働率の想定などによるところもあると思います。長期のプロジェクトであり、文化活動が盛り上がった先にホールができるというのが望ましいため、文化施策のビジョンがあることが重要であると感じました。もともと議論していた点ではあると思いますが、文化会館との役割分担がより重要になると感じました。どちらかというとプロ的な興行は文化会館で、新たな施設は市民の文化拠点というイメージで良いでしょうか。

◇事務局 基本的に、文化会館のホールは興行・プロの方による質の高い公演の鑑賞の場であり、新たな文化小ホールは市民の身近な練習・発表の場として活用したいと考えています。

◎会長 ホール単体というよりは、2つのホールをどう生かしていくか、近い関係の中でまちづくり的にどう考えていくかが重要であると思います。

- 委員 延床面積を縮小するというのですが、客席は平土間形式であれば 500 席は確保できるということでしょうか。
- ◇事務局 客席については移動観覧席、スタッピングチェア、一部固定席とするパターンなど様々ですが、現時点では未決定です。平土間形式にすることで様々な活動ができることを考えています。
- 委員 文化会館を教育活動で活用している身としては、単なる発表の場だけでなく、ホールの素晴らしさや鑑賞マナーなどをこどもたちに伝えたいです。そのため、コンパクトながらも、ゆったり座って舞台を見上げられる固定席の方が良いと思います。
- 委員 ホールの椅子は、可動式でも良いので、並べることは避けてほしいです。
- ◎会長 席を可動式にすることによるコストの変動は多少なりともあるのでしょうか。
- ◇事務局 詳細検討までは至っていませんが、全国な事例から検討を進めています。インシヤルコストだけでなくランニングコストも必要になります。会場づくりを市民が行うのか、指定管理者が行うのか、様々な方法が存在するので、これらを参照しながら検討していきます。
- ◎会長 面積については、文化小ホール部門のみを縮減しているのでしょうか。それ以外のエリアは縮減されているのでしょうか。
- ◇事務局 試算上は重ね使いを加味しています。例えば、文化小ホールを平土間形式にする場合は保健センターと重ね使いすることを検討しています。バックヤード部分や袖など、大きな面積が必要な機能を削ることで、付随する機械室や共用部も削減できると考えています。
- ◎会長 何と何を重ね使いするかによって空間の設計内容が変わってくると思います。が、今後もう少し検討を進める想定でしょうか。
- ◇事務局 上質な文化空間づくりを重視しており、プロ興行とまではなくとも、文化活動の拠点として利用できる空間を意識するべきと考えています。一方で、健診は会議室での実施も可能ではあるため、上質な空間とはリンクしていかないところです。様々な可能性を考えて検討しています。
- 委員 設計難易度が求められる設計者選定になろうかと思われます。学び・交流プラザとの差別化として、場所やコンセプトはもちろん異なりますが、機能的な面での違いははっきりしておいた方が良くと考えています。それに伴う設計者選定に係る要求水準は、上質なものをつくるという認識で間違いないでしょうか。
- ◇事務局 市民館跡地エリアは都心軸としており、駅と文化会館を繋ぐ非常に重要な拠点です。周南市の顔としてふさわしい空間にしていくことは守っていくべきであるという認識です。詳細設計については、市民活動に主軸を置いていくということで、重ね使いを含め、プロ興行に必要な大型車が入れる搬入ヤードや舞台袖などは一部削る等の見直しは考えていますが、これまでのコンセプトは外さないように

しながら進めていきます。

◎会長 スケジュールとしては次回が最後の有識者会議となり、方向性について意見を述べられるのはこの場が最後の機会となります。伝えておきたいことがあれば発言をお願いします。

●委員 最近、ちょっとした段差でも大変に感じる方が増えている印象です。これから新しいものを建てていくにあたって、こども連れや高齢者も訪れる想定であれば、バリアフリーについても重視してほしいと思います。

●委員 文化ホールについては専門ではないですが、多世代の交流などがキーワードになっているので、一つのところに家族で行けば、子育て・交流・創作など、求めるものが異なっても複合的に楽しめるような空間になると良いと思います。部門が分断されないように重ね使いや共用ができると良いです。保健センター・子育て支援部門が重要であると思いますが、保健と子育て支援はニュアンスが違うので、子育て支援部門が全ての部門を繋ぐようなスペースになると良いです。

●委員 検討案②の延べ床面積が減っている中で、文化小ホール以外の3つの部門の面積を広げることが可能であれば、避難所機能と保健センターの機能を拡張していただきたいです。フェーズフリーな空間づくりに重きを置いていただけると有難いです。

◎会長 様々な立場からご意見をいただきました。現状は概算の工事費であり、設計如何でどういったものになるか振れ幅が大きい状況だと思います。気を付けてほしい点、大切にしてほしい点など、いただいた様々なご意見は今後大事にしていきたいです。また、重ね使い・共用というキーワードは、多目的な施設としての方向性としては良いですが、一方でそれぞれの機能に固有に求められるものもあることを懸念する意見も出ていました。長期プロジェクトの想定であるため、市としては、ハードだけでなくソフトの促進も必要だと思います。市および市民の意思次第だと思いますが、その点は大事にしていきたいです。

3 その他

◎会長 ありがとうございます。本日は、第4回目の会議ということで、市民意見聴取結果の共有、事業手法の検討および整備スケジュール、概算工事費の算出について、事務局から説明を受け、議論をしていただきました。

以上で全ての議事が終了となりますが、最後に、「その他」として、事務局から連絡事項等をお願いいたします。

◇事務局 皆様、お疲れさまでした。本日の会議の内容につきましては、これまでと同様に議事録を作成し、皆様にご確認いただいた上で、市のホームページに掲載させていただきます。

なお、次回、第5回会議は10月27日火曜日の10時から今回と同じく庁舎4階庁議室で開催いたします。テーマは、「市民館跡地エリア整備基本計画素案」「今後のスケジュール」を予定しております。

委員の皆様におかれましてはお忙しいところ誠に恐れ入りますが、なにとぞご理解ご協力のほどお願い申し上げます。事務局からは、以上です。

◎会長 以上で、次第に基づくすべての日程を終了いたしました。本日は、長時間にわたり、大変お疲れ様でした。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

4 閉会

◇事務局 本日はありがとうございました。以上をもちまして、「第4回 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議」を終了いたします。お疲れさまでした。